

紀州 經濟史 文化史 研究所紀要

第 42 号

紀伊徳川家庶子大名頼職・頼方(吉宗)の家臣団 藤本 清二郎(1)
— 一名手宿「御供帳」「宿割帳」の分析—

説経の諺使用 柏原 卓(25)
— 「刈萱」を中心に—

〈研究ノート〉

コロナ禍に想う 白岩 昌和(49)
— 濱口梧陵の近代医学への貢献—

〈史料翻刻〉

紀州藩家老三浦家文書(二七) 上村 雅洋(81)
— 江戸出府日記・御用番留帳—

和歌山大学所蔵の伝岩橋千塚古墳群出土品について(2)
— 銅鏡及び耳環、玉、陶質土器—

石丸 彩・岩本 崇・金澤 舞・瀬谷 今日子・(1)
中西 瑠花・仲原 知之・馬場 彩加

西岡虎之助講義「国史学」にみる戦中戦後の国学院大学人脈
海津 一朗(31)

保全優先度の高い棚田を選定するモデルの構築と事例分析
大場 悠暉・山本 祐吾・吉田 登・(51)
原 祐二・三瓶 由紀

2021年12月

和歌山大学紀州經濟史文化史研究所

『紀州経済史文化史研究所紀要』投稿要領

- 1 (投稿資格)論文・資料紹介いずれの場合でも、紀州経済史文化史研究所および『紀州経済史文化史研究所紀要』の目的に合致する研究論文である限りにおいては、所員に限らず誰でも投稿できるものとします。なお、投稿に際しては、本研究所所員の推薦状を添付することができますが、採否には影響しません。
- 2 (字数制限等)注・図表・図版を含め、400字詰原稿用紙換算にて40枚程度を原則とします。使用言語は日本語を原則とします。上記の原則および学術論文としての常識的体裁を大きく逸脱する場合、投稿をお断りする場合があります。また、引用資料・図版等を掲載するにあたっての許諾申請等(電子公開も含む)は投稿者が各自の責任において行なって下さい。
- 3 (投稿申請)例年7月下旬の投稿申請締切までに、投稿者の氏名・連絡先、投稿論文の題目・予定分量・400字以内の要旨を添え、郵送ないしe-mailにて投稿申請を行なって下さい(投稿者が所員ではない場合には研究略歴を添付して下さい)。申請を取り下げる場合には、速やかにご連絡下さい。なお、投稿申請締切日の詳細についてはお問い合わせ下さい。
- 4 (投稿方法)投稿論文の正本・副本、計2部を郵送または持参して下さい。その際、論文データを記録したメディアもあわせてご提出下さい。なお、投稿論文および記録メディアは、投稿を取り下げる等、いかなる場合においてもお返しできません。
- 5 (投稿締切)例年9月中旬の投稿締切日まで上記に定めた方法でご提出下さい。投稿締切日の詳細については投稿申請時にお知らせします。
- 6 (論文審査)『紀要』編集委員会が指名する若干名によって投稿論文の審査を行います。採否が確定しましたら、速やかに投稿者にお知らせします。
- 7 (抜刷等)本誌5部を進呈します。また、抜き刷りについては実費で作成することができます。
- 8 (電子公開)『紀州経済史文化史研究所紀要』は電子化されウェブ上に無償で公開されます。本誌掲載の著作物の著作権は執筆者に帰属しますが、研究論文等の入稿を以て、ウェブ上における無償公開を許諾したものと見なします。
- 9 (連絡先)論文投稿に関しての窓口は紀州経済史文化史研究所事務室とします。

附則

本投稿要領は、平成28年6月28日より適用する。

附則

この改正要領は、令和3年4月1日より適用する。

[執筆者一覧] ◎を付したものは投稿・査読論文である。

- ◎藤 本 清二郎 和歌山大学 名誉教授
◎白 岩 昌 和 広川町議会議員 副議長
◎柏 原 卓 和歌山大学 名誉教授
上 村 雅 洋 和歌山大学 名誉教授
◎石 丸 彩 和歌山県教育庁 技師
岩 本 崇 島根大学法文学部 准教授
金 澤 舞 和歌山県立紀伊風土記の丘 学芸員
瀬谷今日子 和歌山県教育庁 主査
中 西 溜 花 有田市教育員会 主事
仲 原 知 之 和歌山県教育庁 主任
馬 場 彩 加 田辺市教育委員会 事務員
◎海 津 一 朗 和歌山大学教育学部 教授
◎大 場 悠 暉 和歌山大学大学院システム工学研究科 院生
山 本 祐 吾 和歌山大学システム工学部 准教授
吉 田 登 和歌山大学システム工学部 教授
原 祐 二 和歌山大学システム工学部 准教授
三 瓶 由 紀 京都産業大学生命科学部 准教授

紀州経済史文化史研究所紀要 第42号

発行日 2021年12月24日

発行所 紀州経済史文化史研究所

和歌山市栄谷930

印刷所 中和印刷紙器株式会社

和歌山市久保丁4-53

BULLETIN
OF
INSTITUTE OF KISHU ECONOMIC
AND CLUTURAL HISTORY
WAKAYAMA UNIVERSITY

CONTENTS

Article:

A study of retainers of Yorimoto and Yorikata (Yoshimune) who were Daimyo and also known as illegitimate sons of Kii-Tokugawa-Ke, Feudal Lord of Kii Domain: Through analysis of the hotel registers of vassals traveled with them that was referred to as Otomo-cho and Yadowari-cho at Nate-juku, a post station of Ise Kaido Road from 1693 to 1704

FUJIMOTO Seijiro (1)

Use of the Proverb in Sekkyo (説経) — Focusing on “Karukaya (刈萱)” —

KASHIWABARA Suguru (25)

Research Note:

Goryo Hamaguchi : Life Lessons from A Legend

— A brief history of public health in Wakayama and COVID-19 —

SHIRAIWA Masakazu (49)

Transcription:

Family Documents of Miura, Seneschal of the Kishu Clan (27)

UEMURA Masahiro (81)

Article:

On the collection of Wakayama university reportedly excavated from Iwase Senzuka tumulus cluster (2) : Bronze mirror, Earring, Beads and Ceramic earthenware

ISHIMARU Aya, IWAMOTO Takashi, KANAZAWA Mai, SETANI Kyoko,

NAKANISHI Ruka, NAKAHARA Tomoyuki & BABA Ayaka (1)

Toranosuke Nishioka lectured at Kokugakuin University on the formation of human networks in postwar history

KAIZU Ichiro (31)

Model Construction and Applications for Screening Terraced Paddies with Higher Conservation Priority

OBA Yuki, YAMAMOTO Yugo, YOSHIDA Noboru,

HARA Yuji & SAMPEI Yuki (51)
